

アルファーズG 高圧注入止水工法
施工要領書

三生化工株式会社

石川県金沢市専光寺町ヲ225番地

TEL 076-266-8511 / FAX 076-266-8512

1. 概要

本施工要領書は、省工程でコンクリート構造物の漏水対策（2ℓ/分程度）と劣化防止を可能とする「アルファーズG 高圧注入止水工法」に関するものである。

本工法の施工概念図を図1に示す。

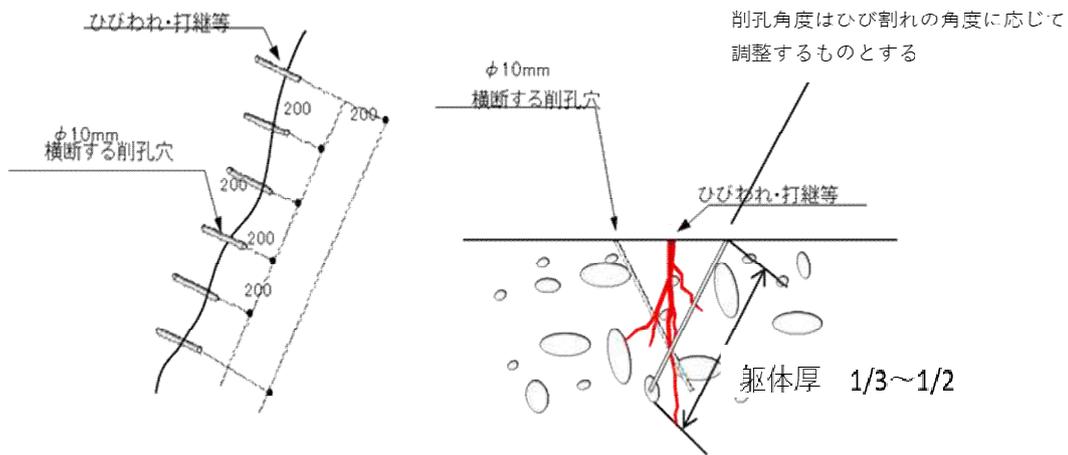


図1 アルファーズG 高圧注入止水工法の施工概念図

2. 材料

本工法に使用する材料の一覧を図表1に示す。

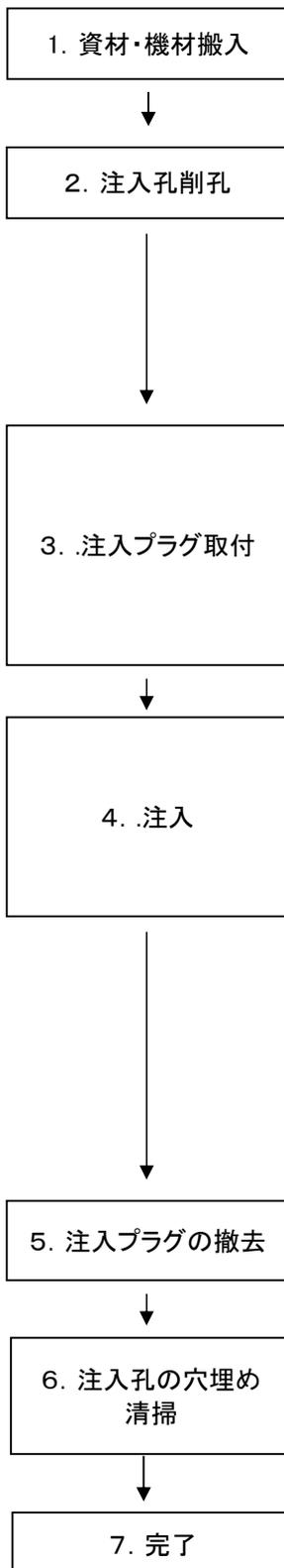
図表 1

品名	製品構成（荷姿）	分類
アルファーズG	主剤 20.0kg/缶	アクリル系 水性高分子特殊ポリマー
アルファーズゲル化剤	硬化剤 1.0kg/缶	水溶性ポリイソシアネート
ニックナインP	100本/袋	高圧注入用プラグ

3. 施工フロー（施工手順）

アルファーズルG 高圧注入止水工法に基本施工フローを図2に示す。

施工フロー 図2



施工手順

必要な資材・機材の搬入を事前打合せした所定の経路にて搬入。
材料の温度（安定20℃）が著しく高低温にならないよう安定した温度の場所で保管する。

10.5φドリルビットでクラックを跨ぐように削孔を行う、穴ピッチは200mm±20。深さは躯体の1/3～1/2を目安とする。

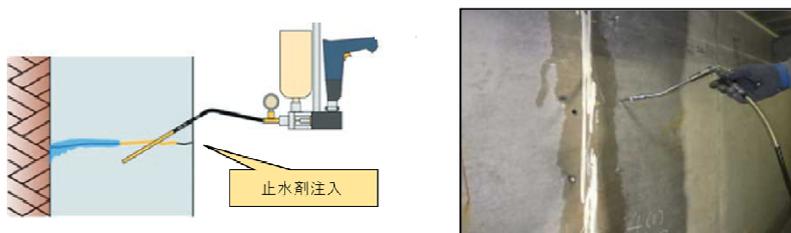


削孔した穴に高圧注入用プラグ（ニックナイン）を差し込み、8mmソケット（インパクトドライバー）やソケットドライバーで締め込む。



配合 主剤100：硬化剤5：水5

- ①水と硬化剤を混ぜへらなどを使用して半透明になるまでゆっくり掻き混ぜる。
- ②主剤に水と硬化剤を混ぜた物を入れ、攪拌機で十分攪拌（1～2分位）を行う。**※次項注意事項ご参照**
- ③取り付けた高圧注入プラグに注入用ポンプをセットして注入する。



注入終了後、注入プラグのスリット部をハンマーで叩き折る又はソケットドライバーなどに引っかけて折り除去する。

ポリマーセメントモルタルにて閉塞。
削孔時の切り粉や注入時にリークした材料などを清掃。



完了

注意事項 次項をご覧ください

3. 2 注意事項

【適用材料温度】

5°C～25°C

原則として材料温度20°Cを目安として保管をしてください。

・夏季、高温箇所・・・炎天下や高温箇所での放置、直射日光は避けてください。

材料温度が25°Cを超えると著しく材料の硬化速度（ゲルタイム）が速くなることがあります。

対策：日陰、風通しの良い場所で保管。車両内冷房などで保冷。

・冬季、寒冷地・・・凍結にご注意ください。

材料温度が10°Cを下回りますと硬化速度（ゲルタイム）が遅くなる場合があります。

対策：車両内暖房で保温。ヒーターなどで加温。

【高圧ポンプ圧力】

設計図にポンプ圧力の記載がある場合、設定圧力をご注意ください。

一般的なポンプ圧力

200-500kgf/cm² ≒ 20-50MPa

4. 材料の廃棄処理方法

アルファー・ゾルー G 及びアルファー・ゾルーゲル化剤

液体材料として破棄はしないでください。バケツなどの容器に主剤と硬化剤を混ぜ硬化体として廃棄をお願い致します。硬化体は安定型混合廃棄物（廃プラスチック類）として扱えますが地方自治体によって異なる場合がございます。建設混合廃棄物として処理頂くことが一般的です。

ニックナインP

建設混合廃棄物として処理をお願い致します。

5. 注入可能クラック幅 （目安）

従来注入 0.05～2.00mm

目止め後、注入[※] 2.00～20.00mm程度

※クラックや目地をポリマーセメントで埋めてから注入を行うこと。

※保証数値ではございません。